



小樽南ロータリークラブ会報

1960年創立
昭和35年2月5日

9

2021年10月29日発行
通巻 第2953号

Rotary 2021-2022年度19テーマ

2021-2022年度 RI第2510地区目標

- 世界に奉仕を 地域には感謝を
- 不忘感謝先人偉業

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

今週10月29日金のプログラム

- 卓話：小樽市総合博物館 館長 石川直章氏

来週11月5日金のプログラム

- 卓話：米山奨学生

再来週11月12日金のプログラム

- 夜間例会

●例会場/オーセントホテル小樽 ●例会日/毎週金曜日12時30分 ●事務局/〒047-0032 小樽市稲穂2-15-1(オーセントホテル内) TEL.0134-27-8080 ●Club Homepage URL <http://rid2510.org/otarusouth/>

●第9回例会報告(10月22日金) ●山月間を迎えて 松浦光紀ガバナー補佐

■ロータリーソング【日も風も星も】 ■会長挨拶【野村会長】

10月9、10日函館で開催されました2510地区大会に、ガバナー補佐松浦会員を筆頭として10名で参加してまいりました。9日の市民オープンでの記念講演会、ジャーナリストの櫻井よしこさんが務められました。大変素晴らしい講演で、あっという間の90分間でした。しかし、再来年のホストクラブという視点でも参加している我々にとりましては、進行、運営等について、失礼ながら気がかりな点がございました。そのことを受け、松浦ガバナーノミニーの呼びかけにより先週地区大会参加者が集まりまして、私達なりの大会の総括をいたしました。2年後ですが、地区大会が遺漏なく盛会裏に終わることができますよう、会員一同思いをひとつにして向かわなければと感じた次第です。今後、人事も含めて骨子づくりが始まると思いますが、ご理解、ご協力の程、私の方からも宜しくお願い申し上げます。

■委員会・同好会報告 【ロータリー財団委員会】

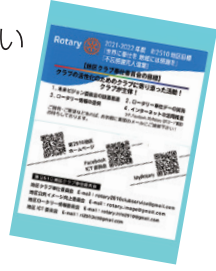
10月24日は世界ポリオデーです。10月29日の例会で基金の寄付を、まごころ箱で受け付けます。会員千円以上の寄付をお願いします。

【ゴルフ同好会】

10月16日本年最後のゴルフ例会を開催し、紺谷会員が優勝。また、年間総合優勝は福島会員でした。例会後、懇親会を開き、今年度の●事を全て終了しました。

【斎藤前会長】

地区の情報●よりカードが届いております。皆様に配布します。



【青少年奉仕委員会】

今年度ポエムコンクールの作品は5,000点をこえました。表彰式は昨年は中止となりましたが、今年度は実施予定

です。また、第25回文化セミナー「明日の物語」をライブ配信する予定で準備をしています。ぜひ、よろしくお願い致します。

■出席委員会 令和3年10月23日(金)

会員総数 61名 本日の欠席者 0名
理事会決定により100%出席
リモート出席者 5名
佐藤(友)、山下、保知、宮川、菊池

地区大会に参加して

ガバナーノミニー 松浦光紀

今年度の地区大会は函館五稜郭クラブがホストクラブとなり、コ・ホストクラブに函館東と北斗クラブが担当されました。

大会初日の10月9日は、函館市民会館に於いて、記念講演として、ジャーナリストの櫻井よしこ氏の講演を拝聴しました。600席に限定し、一般の方にも参加を呼びかけられ開催されました。タイトルは「世界の中の日本」、テレビ出演と同じく凛とした姿勢、明瞭な語り口、聴きに來られた方々は大変満足されたことと思います。

夕方より、「小樽ナイト」を開催し、交友を深めさせて頂きました。

翌日、指導者育成セミナーが、開催され各クラブ当年度会長・幹事、次年度会長・幹事及び地区役員、各ガバナー補佐、地区委員会の方々が出席し、ロータリープログラムに参加して人生を豊かにした多様なロータリアン」と題し、シンポジウムが行われられました。その後、会長幹事はRI会長代理中谷研一氏をお迎えし、大会決議案上程審議・承認等が行われ、本会議で開催されRI現況報告、地区現況報告を受け大会決議案は採択され予定時間を30分ほど延長して終了致しました。

当日はオンラインでも発信され、多くの会員が自宅で参加されました。

3年後小樽で地区大会を開催予定であります。大会準備もあり、当クラブから会長幹事を含め10名参加をすることが出来ました。クラブ会員皆さまのご支援を賜り、今日から心を決めて準備を重ねて行く所存です。宜しくお願い申し上げます。

卓話 米山記念奨学事業の基礎知識について



松浦光紀会員

米山記念奨学事業の意義について

在籍年数の豊かな方は何度もお聴きしていることだと思いますので、我慢して聞いて頂きたいと思います。

米山記念奨学の目的について

事業は将来日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これはロータリーの目指す「平和と国際理解の推進」で、外国人留学生を支援する国際奨学事業のプログラムです。

1952年東京RCが奨学事業の構想を立案、同年スタート。

1953年に「米山基金」の募集が開始されました。

全国のロータリアンからの寄付を財源として、日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給する、世界で類を見ない日本独自の34地区による「他地区合同活動」として全国のロータリークラブ、地区が米山記念奨学会の活動を支えています。

ロータリーが外国人学生等に対する支援プログラム、ロータリー平和フェローシップ（ロータリー財団）

世界平和の実現を目指して、毎年100名までを選出し、全世界7つの学校に設置された6つの「平和紛争解決における国際紛争研究の為のロータリー平和センター」で修士課程又は、専門終了証プログラムに参加する資格を援助するものです。日本では、国際基督教大学があります。

ロータリー奨学会があります。「ロータリー財団」

ロータリー財団のグローバル補助金や地区補助金による奨学金を提供しています。

グローバル補助金では、7つの重点分野、平和と紛争予防紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率の向上、経済と地域社会の発展、新たに加わった環境の保全に係る分野に留学希望者又は既に留学している方も対象です。

地区補助金ではロータリーの7つの重点分野以外の分野の専門家を育てています。

長期青少年交換学生があります。「国際ロータリー」

高校生を主とした異文化交流「ロータリー親善大使」を目的とする1年間の高校留学とホームステイ。

ロータリー米山奨学生があります。日本の「ロータリー米山記念奨学会」

日本独自の他地区合同活動として、在日外国人留学生の支援をおこなっています。

米山奨学生は例会や地域の奉仕活動、日本の実業家、専門職業人である、ロータリアンと交流を通じ、より深く日本を知り、ロータリーが求める平和の心を学んで行きます。

年間の奨学生採用数はここ最近では800人、事業費は14億円、民間最大の国際奨学事業です。これまでに支援した奨学生は2万人を超え出身国は世界125の国と地域に及びます。

※紙面の都合上以下は割合させていただきました。

まごころ箱 いつも有難うございます！

- 野村会員** 松浦会員、卓話ありがとうございました。
- 福島会員** 今年度、ゴルフ同好会コンペで、年間総合優勝をいただきました。同好会メンバーに感謝です。
- 紺谷会員** 10月16日(土)小樽カントリークラブ旧コースにおいて、ゴルフ同好会、最終ゴルフコンペに参加。前回に続いての連続優勝。取りきり戦も優勝、年間総合でも準優勝を勝ち取りました。次年度も上位目指して頑張ります。
- 見延会員** 一年間ゴルフを楽しませていただきました。最高の会員親睦の機会を用意して下さった役員の大倉会員、京谷会員、井手会員、有難うございました。大感謝です。
- 地山会員** 夫人誕生祝。結婚祝。会員誕生祝。
- 京谷会員** バッジ忘れました。

入金集計額

【令和3.7.2~令和3.10.22】

10月22日分
34,000円

合計 **428,000円**

第26回文化ミニナー

明日の物語

11月23日(水・祝)

正午~16:00(予定)

5,000円(税込)

無観客ライブ配信(有料)

総本 児童文学研究センター

〒001-8585 北海道札幌市中央区南一条西10丁目1-1

TEL 011-242-2709

https://www.wra-jc.com